附属展示館のご案内

土浦城東櫓（徒歩１分）

亀城公園（土浦城跡）に復元された東櫓では、土浦城発掘時の出土資料や建造物の復元方法を紹介しています。2階からは櫓門や西櫓、本丸跡などを望むことができます。博物館共通券で見学できます。

博物館周辺のご案内

亀城公園（徒歩１分）

「続日本100名城」選定

土浦城の本丸・二ノ丸跡の一部が公園として整備されています。堀に囲まれた公園には、四季折々の花が咲き、市民の憩いの場となっています。櫓門をはじめ東櫓・西櫓などの建造物が見学できます。　茨城県指定文化財

郁文館の正門（徒歩５分）

土浦藩の藩校「郁文館」の正門（土浦市指定文化財）が、土浦第一中学校の門として残されています。

まちかど蔵「大徳」「野村」（徒歩８分）

まちかど蔵は、旧水戸街道沿いに建てられた商家です。土蔵造りで袖蔵をもつ商家の内部を見学することができます。商家の暮らしに関連する資料展示などもあります。

国登録有形文化財

旧水戸街道の街並み（徒歩８分）

まちかど蔵や矢口家住宅（県指定文化財）などが並ぶ中城通りは、旧水戸街道の面影を現在に伝えています。歴史の小径をたどりながら、城下町土浦を散策してみてはいかがでしょうか。

利用のご案内

開館時間　●午前９時から午後４時 30 分まで
休 館 日　●月曜日・祝日の翌日
（ただし、翌日が土日の場合は開館）、
年末年始（12/28 ～ 1/4）、
特別展開催にともなう展示替え期間ほか
入 館 料　●一般　　200 円（150 円）
高校生以下　無料
※附属展示館東櫓との共通入館料、
（　　）内は 20 人以上の団体料金
お 願 い　●館内での飲食・喫煙はできません。
●そのほか、職員の指示に従ってください。

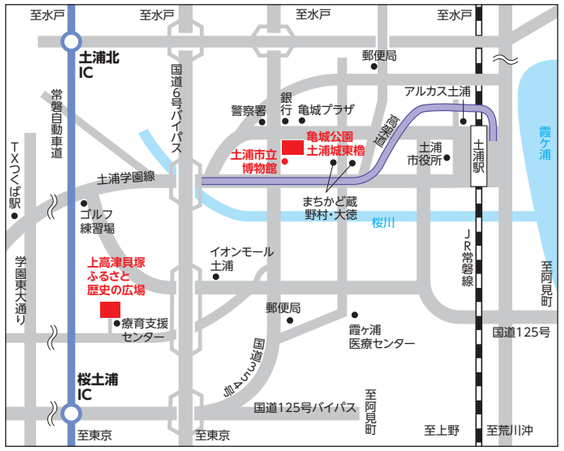
交通のご案内

電車で

○JR土浦駅（常磐線上野駅から快速70分・特急50分）下車。
土浦駅西口から徒歩15分、または
西口バス乗り場④⑤番から「亀城公園前」下車徒歩1分
○つくばエクスプレスつくば駅（TX秋葉原駅から快速45分）下車
つくばセンターバス乗り場⑤番から「千束町」下車徒歩8分

お車で

常磐自動車道土浦北IC（水戸ICから35分）から10分、
または桜土浦IC（三郷ICから30分）から10分



土浦市立博物館　土浦市立博物館　検索

〒300-0043　茨城県土浦市中央一丁目 15 番 18 号
TEL 029-824-2928　FAX 029-824-9423

上高津貝塚ふるさと歴史の広場のご案内

（博物館より車で10分、029-826-7111）

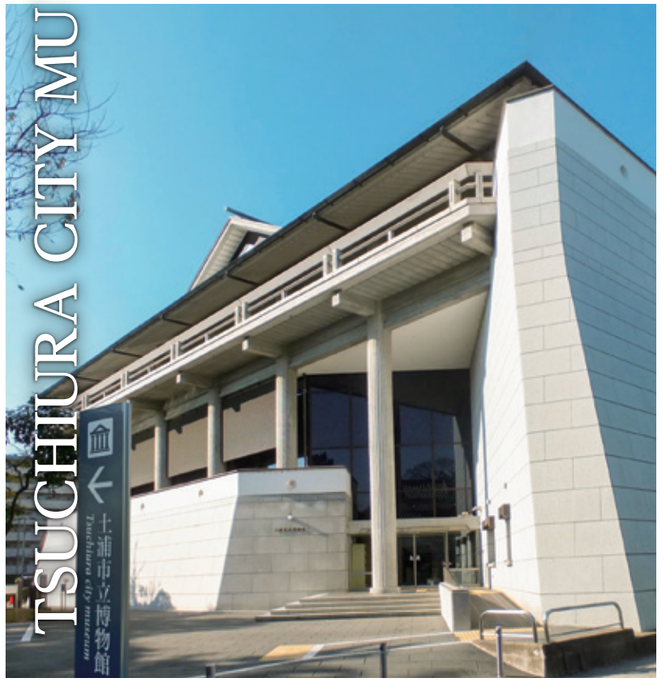
国指定史跡「上高津貝塚」を復元整備した広場と、縄文時代を中心に市内の参考資料を展示している考古資料館があります。博物館の展示とあわせてご覧ください。

再生紙使用、植物性インキ使用　2023.12

TSUCHIURA CITY MUSEUM

土浦市立博物館

ごあんない



土浦市立博物館附属展示館「土浦城東櫓」

TSUCHIURA CASTLE
EAST TURRET

土浦の歴史と文化の発信拠点として

土浦市立博物館では、昭和63年（1988）の開館以来、土浦の歴史・文化を紹介しています。

1階には土屋家ゆかりの刀剣・茶道具などが鑑賞できる「大名土屋家の文化」のコーナーがあります。2階は、総合テーマ「霞ヶ浦に育まれた人々のくらし」のもと、土浦のあゆみを紹介する展示となっています。これらの展示資料（作品）は定期的に更新されるほか、特別展等の展覧会も開催します。

土浦市立博物館の取り組み

土浦地方の歴史・文化の特質を調査研究によって明らかにし、展示・教育普及活動を通して、これらの成果を公開しています。また、多様な資料を後世に伝えるため、歴史・民俗資料の収集と保存に努めています。

- 土浦の歴史や文化をテーマにした展覧会・講演会の開催
- 歴史講座・はたおり体験講座等の開催
- 土浦藩関係資料・古文書・生産生活用具・民俗行事調査
- 資料の収集・整理・保存活動の実施
- 市史資料集や研究紀要などの発行・販売
- 小中学校の校外（総合）学習の受け入れ
- 文化活動団体（サークル）への協力
- 博物館実習生・職場体験の受け入れ　ほか

スタンプ・メモ

1F

展示室１

「大名土屋家の文化」コーナーとして、土浦藩土屋家の刀剣・茶道具などを展示しています。秋には、国宝・重要文化財の刀剣を公開します。

展示室２

特別展・テーマ展などを開催します。特別展等の開催期間外は、展示室1とともに「大名土屋家の文化」を紹介しています。

エントランスホール

明治時代の大きな花火筒、土浦の船大工が製作した高瀬船の模型（実物の5分の1）、玄関上のガラス越しに土浦城西櫓が目の前に見えます。

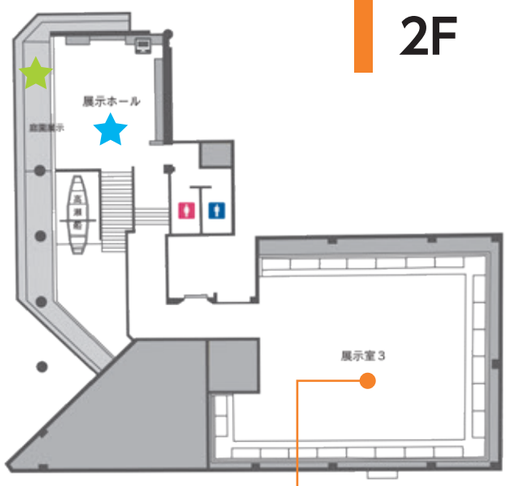
野外展示

博物館入口前には、道標（市指定文化財）や土浦城櫓門の礎石などが、2階のベランダには庭園展示などがあります。

展示ホール

むかしの道具にふれ、歴史クイズを楽しむ体験型展示スペースです。はたおり体験講座も開催されます。また、情報ライブラリーなどを利用し、調べ学習ができます。

2F



展示室３

総合テーマ「霞ヶ浦に育まれた人々のくらし」のもと、メッセージ展示と実物資料展示で構成しています。展示品を随時入れ替え、特別展などの展覧会も開催します。展示替えは、季節ごとに年4回行います。

展示室３イメージ図

メッセージ展示

短い文と図表・映像・模型などで構成されるコーナーです。各時代の特徴を独自の視点で表現したもので、「霞ヶ浦に育まれた人々のくらし」をテーマに描く地域のあゆみです。

実物資料展示

実物資料を展示し、じっくりと鑑賞して頂くコーナーです。新しい収蔵資料や最新の研究成果をもとにして、展示品の入れ替えを行います。

収蔵資料のご紹介

資料は、季節ごとに展示替えをしながら紹介をしており、展示されていない期間があります。あらかじめご了承ください。

土浦藩土屋家の文化

博物館では、国宝1口、重要文化財4口、重要美術品6口を含む土浦藩土屋家の刀剣85口を所蔵しています。

土屋家刀剣の主なものは、2代藩主政直（まさなお）が所有していたもので、そのなかには将軍家から下賜されたものや、他の大名家から贈られたものも見受けられます。政直の治世において集まった数多くの名刀は、土浦藩9万5千石のシンボルであり、家宝として歴代藩主によって大切に守られてきました。明治維新後に大名の家宝の多くは散逸しますが、土屋家刀剣は一括して伝世されてきた点でも貴重なものです（展示品を入れ替えながら紹介します。国宝・重要文化財などの展示は秋に予定）。

国宝短刀とその拵

		銘　文	種別	国	時　代
国宝	1	筑州住行弘（ちくしゅうのじゅうゆきひろ）　観応元年八月日（かんのうがんねん）	短刀	筑前	南北朝時代（1350年）
重要文化財	2	國光（くにみつ）（新藤五（しんとうご））	短刀	相模	鎌倉時代末期
	3	信房作（のぶふささく）	太刀	備前	鎌倉時代初期
	4	守家造（もりいえぞう）	太刀	備前	鎌倉時代
	5	恒次（つねつぐ）	太刀	備中	鎌倉時代初期
重要美術品	6	無銘（来國光（らいくにみつ））	刀	山城	鎌倉時代末期
	7	景安（かげやす）	太刀	備前	鎌倉時代初期
	8	備前國住人景安作（びぜんのくにじゅうにんかげやすさく）	太刀	備前	鎌倉時代初期
	9	（金象嵌銘（きんぞうがんめい））長義磨上本阿（ちょうぎすりあげほんあ）（花押）	刀	備前	南北朝時代
	10	無銘（貞次（さだつぐ））	刀	備中	南北朝時代
	11	無銘（弘行（ひろゆき））	刀	筑前	南北朝時代

土浦藩土屋家の初代数直（かずなお）と2代政直は、茶の湯の愛好家と目された大名でした。土屋家が「土屋蔵帳」として知られる数多くの茶道具を所蔵していたことは、古美術の世界ではよく知られています。

茶入　塩屋

根鹿北遺跡出土瓦塔（がとう）・瓦堂（がどう）

土浦市今泉では、平安時代（9世紀）の仏教施設の建物跡（仏堂）が確認されています。出土した資料から、仏堂には焼き物の塔・堂が安置されていたと推測されます。当時の寺院建築や他の出土例などを参考に、この瓦塔・瓦堂を復元しました。

東城寺経塚の経筒（とうじょうじきょうづかのきょうづつ）

土浦市東城寺の東城寺裏山では、平安時代につくられた経塚12基が確認されています。経塚からは、この地方に勢力をもった平致幹（むねもと）が、12世紀に埋納した経筒が出土しました。古代の信仰、埋納者や年代がわかる点で貴重な資料です（展示資料は複製品）。

土浦藩士関係資料

土浦藩の砲術指南を勤めた関家、地理学者（蘭学者）であった山村才助、お抱え絵師であった岡部洞水（とうすい）など、多彩な藩士たちの姿を様々な資料から紹介しています。また、彼らの足跡を映像でご覧いただけます。

市指定文化財

大輿地球儀（だいよちきゅうぎ）（傘式地球儀（さんしきちきゅうぎ））

町人学者沼尻墨僊（ぼくせん）による地球儀で、竹骨の上に和紙で刷った地図を貼ってつくられています。傘のように折りたためることから、傘式地球儀の名があります。

市指定文化財

高瀬船模型

江戸時代から明治時代にかけて、霞ケ浦の水運で活躍した高瀬船の模型がエントランスホールで皆様をお待ちしています。土浦の船大工の手による作品です。江戸時代、土浦からは米、醤油、薪炭などが大都市江戸へと運ばれました。

青い目の人形

昭和2年（1927）に日米友好の証として、日本の小学校などに贈られた青い目の人形の一体。太平洋戦争中に「敵国人形」として、多くが焼かれたり壊されたりしましたが、土浦幼稚園の人形は大切に保管されていました。